

作業療法学科 カリキュラム・マップ:2025年度以降入学者

大学のディプロマ・ポリシー	作業療法学科のディプロマ・ポリシー
<p>1) 保健医療分野の専門性 保健医療の専門職として必要な専門知識と技術を身に付け、対象者の支援のために適切に活用することができる。</p> <p>2) 共生社会の理解 共生社会の概念を理解し、障がい者や高齢者など多様な生活者が共生できる社会の実現に意識を置きながら、保健医療の専門職として行動することができる。</p> <p>3) 課題解決力 保健医療の専門職が直面する様々な課題について、その背景やニーズを把握し、対象者の立場を理解し、課題解決に向け適切に行動することができる。</p> <p>4) 応用力 QOLの維持・向上や健康寿命の延伸に向け、保健医療の専門分野のみならず、関連する他分野の知識を応用し、視野を広げて業務に取り組むことができる。</p> <p>5) 組織における経営・マネジメント力 経営・マネジメントの素養を身に付け、保健医療に関する諸課題の改善に取り組むことができる。</p>	<p>1) 保健医療分野の専門性 作業療法に関わる専門的な知識や技術を修得し、身体的及び精神的なリハビリテーションを必要とする対象者に、日常生活・社会生活を実現するための支援ができる。</p> <p>2) 共生社会の理解 作業療法の専門職としての役割に加え、共生社会の理念を実践する作業療法士としての自覚を持ち、組織や地域社会に貢献することができる。</p> <p>3) 課題解決力 生活支援を行う医療専門職である作業療法士として、適切な評価を通して、対象者が実現したい生活行為等を把握し、日常生活・社会生活に必要な能力の維持・回復等に関する課題解決に取り組むことができる。</p> <p>4) 応用力 作業療法の専門性である生活支援分野等に隣接する他分野へ視野を広げ、対象者のQOL維持・向上や健康寿命の延伸に向けた作業療法の応用・展開に取り組むことができる。</p> <p>5) 組織における経営・マネジメント力 保健医療経営や作業療法に取り組む組織・人材マネジメント等に関する基礎知識を身に付け、保健医療経営やマネジメント等の課題に幅広く対応できる。</p>

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
敬心における共生論	R01A151L1		基礎科目	1	必修		①医学を学ぶ上で必要な漢字の知識を習得する。 ②学生同士で協力して課題に取り組むことができる。 ③大学生生活や実習における適切な身だしなみ、振る舞いを身につける。	○	○	○		
リハビリテーション基礎Ⅰ	R01A152L1		基礎科目	1	必修		①基礎医学の最重要項目を覚えることができる ②他者と協力しながら課題を遂行することができる		○	○		
リハビリテーション基礎Ⅱ	R01A253L1		基礎科目	1	必修							
リハビリテーション基礎Ⅲ	R01A254L1		基礎科目	1	必修							
心理学	R01A155L1		基礎科目	2	必修		①学生は、授業で扱われた心理学の各テーマについての概要を理解し、その中に出てきたキーワードや代表的な心理学実験について説明できる。 ②学生は、授業で扱われた心理学の知識がリハビリテーション専門職の仕事にどのように関わっているのかについて説明できる。 ③学生は、リハビリテーション専門職の国家試験に頻出するテーマの重要事項について覚え、国家試験問題の過去問を解くことができる。	○	○	○		
社会学	R01A156L2		基礎科目	2	選択		①現代社会において自発的に判断し、発言できる人間になる。 ②社会学の特徴を理解し、その観点から社会現象を分析、整理して文章にまとめることができるようになる。 ③学生同士のディスカッションを踏まえて、自分の意見を明確に述べるようになる。		○			
実務英会話	R01A157P1		基礎科目	1	必修		①英語の保健医療福祉の専門用語を覚え、活用できる ②介護の場面で使われる英単語や関連表現・フレーズを活用できる ③コミュニケーションツールとして英語を捉え、恥ずかしがらずに活用できる姿勢を身につける	○	○			

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
法律学	R01A158L2		基礎科目	2	選択		①法が社会生活の中でどのような機能を有しているかを説明できる。 ②憲法、民法、刑法の基本的知識を説明できる。 ③学習した基本的知識を日常生活で生じうる法律問題において適用できる。 ④医療・福祉部門で仕事をしていくうえで生じうる法律問題について説明できる。		○			
チームワーク実習	RG1B251P1		基礎科目	1	必修							
コミュニケーション論	R01B152L1		基礎科目	2	必修		①コミュニケーションの基礎的な理論を理解し説明できる。 ②ソーシャル・メディアにおけるコミュニケーションや異文化コミュニケーションの問題について理解し説明できる。 ③アサーション・トレーニングについて理解し説明することができる。		○	○		
ボランティア概論	R01C151L1		基礎科目	2	必修		①ボランティアの基本概念を理解し説明できる。 ②様々な領域のボランティア活動について説明できる。 ③ボランティアとNPO、コミュニティ等との関係を説明できる。		○	○		
統計学	R01D351L1		基礎科目	2	必修		①データ解析の基礎を学び、データの管理が行える。 ②得られたデータの要約を行うことができる。 ③データから母集団の推定・検定を行うことができる。 ④作業療法を行う上で、統計学がどのように用いられているのか理解できる。					
生物学	R01D152L1		基礎科目	2	必修		①人間を含むすべての生物が共通してもつ基本的な特徴について説明することができる。 ②人体を構成する主要な化学物質と、人体の基本単位である細胞の構造と機能を説明することができる。 ③食物から得られる栄養素が体内で利用されるしくみについて説明することができる。 ④細胞間の情報伝達のしくみについて説明することができる。	○				
情報リテラシー	R01D153L1		基礎科目	2	必修		①コンピュータとインターネットの基本的な仕組みを理解し、自分の言葉で説明できる。 ②情報システムの基本的な構成と利用法、各種用語を正しく理解し説明できる。 ③情報システムの特性と背後にある仕組みの関係が説明できる。			○	○	
解剖学Ⅰ	R02E151L1		職業専門科目	1	必修		ヒトの骨とその連結の構造と機能、骨格筋の付着部と作用を理解し説明できることを到達目標とします。また、到達目標を達成するために以下の4つの小目標を設定し、学習を進めていきます。 ①ヒトの尊厳と生命倫理の重要性を述べることができる。…解剖学総論により学修を深める。 ②上肢帯と上肢の構造を説明することができる。…骨や靭帯、関節および骨格筋 ③下肢帯と下肢の構造を説明することができる。…骨や靭帯、関節および骨格筋 ④頭頸部と体幹の構造を説明することができる。…骨や靭帯、関節および骨格筋	○				
解剖学Ⅱ	R02E152L1		職業専門科目	1	必修		神経系、感覚器系、消化器系、呼吸器系、循環器系、内分泌系、泌尿器系および生殖器系の構造と機能を理解し説明できることを到達目標とし、達成するために4つの小目標を設定し進めます。 ①解剖学Ⅱを通して、ヒトの尊厳と生命倫理の重要性を述べることができる。…各種系統概論 ②神経系の構造を説明することができる。…概論、中枢神経、末梢神経、伝導路、感覚器 ③内臓器の構造を説明することができる。…消化器、呼吸器、循環器、内分泌、泌尿器、生殖器 ④人体の発生について説明することができる。…受精から出産までの過程の解剖学的側面	○				
解剖学実習	R02E153P1		職業専門科目	1	必修		①人体を構成する骨格系の名称を説明できる。 ②人体を構成する筋系の名称および筋の起始、停止部位を説明できる。 ③人体各部に分布する筋を作用ごとに列挙することと、それらの筋の神経支配を説明できる。 ④全身の筋の筋力測定方法を理解することができる。 ⑤筋力検査に関する国家試験問題を解くことができる。	○		○		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
機能解剖学	R02E254L1		職業専門科目	1	必修		<p>体表から骨や靭帯、関節および骨格筋の仕組みと位置を理解する。また、それらが形成する関節運動と歩行を中心とした各動作の動きと仕組みを理解する。</p> <p>①骨や靭帯、および骨格筋の仕組みと形状、位置を理解し説明できる。 ②関節の種類と位置、運動の仕組みを理解し説明できる。 ③歩行に代表される動作について動きと仕組みを理解し説明できる。</p>	○				
生理学 I	R02E155L1		職業専門科目	1	必修		<p>①人体の構成単位としての細胞の構造と機能、特に細胞膜の構造と機能について説明することができる。 ②循環・呼吸・消化吸収・排泄・内分泌の各機能を担う器官とその働きを説明することができる。</p>	○	○			
生理学 II	R02E156L1		職業専門科目	1	必修		<p>①ニューロンの構造と機能について説明することができる。 ②神経系の構成と各神経系の機能について説明することができる。 ③各感覚系を構成する器官と感覚のしくみについて説明することができる。 ④骨格筋の構造と収縮機構について説明することができる。 ⑤神経系による運動制御のしくみについて説明することができる。</p>	○	○			
生理学実習	R02E257P1		職業専門科目	1	必修		<p>①生理学的指標の計測原理を理解し、何をどういうしくみで測っているのかを説明することができる。 ②計測の結果得られたデータを適切に解析、表やグラフ等を用いて視覚的に呈示できる。 ③実習の結果と教科書等の記載から、科学的な考察を導き記述することができる。</p>	○		○		
運動学 I	R02E158L1	○	職業専門科目	1	必修		<p>①生体力学の基礎を理解することができる。 ②生体の構造と機能（運動器の構造と機能）を理解することができる。 ③四肢と体幹の運動について理解することができる。 ④運動と動作の分析について理解することができる。 ⑤体力と運動処方について理解することができる。 ⑥姿勢について理解することができる。 ⑦歩行と走行について理解することができる。 ⑧運動学習について理解することができる。 ⑨関節可動域測定法について理解することができる。</p>	○				
運動学 II	R02E259L1	○	職業専門科目	1	必修		<p>① 人体を構成する骨格系の名称を説明できる。 ② 人体を構成する筋系の名称および筋の起始、停止部位を説明できる。 ③ 人体各部に分布する筋を作用ごとに列挙することと、それらの筋の神経支配を説明できる。 ④ 全身の筋の筋力測定方法を理解することができる。 ⑤ 筋力検査に関する国家試験問題を解くことができる。</p>	○		○		
運動学実習	R02E260P1		職業専門科目	1	必修		<p>一般目標 (GIO) 基本的な動作を観察し分析することができる。 行動目標 (SBO) ①動作分析を行う上で重要な生体力学を理解する。 ②上肢・下肢・体幹の運動器と動作を説明することができる。 ③日常生活動作上で重要な動作を相に区分し、説明することができる。</p>	○		○	○	
運動生理学	R02E261L1		職業専門科目	1	必修		<p>①人体の基本的な生理機能（心血管系、呼吸器系、神経系、筋骨格系、内分泌系など）を説明できる。 ②運動が身体の各種システムに及ぼす影響を説明できる。</p>	○				
人間発達学	R02E162L1		職業専門科目	1	必修		<p>①各発達期の特徴を述べることができる。 ②運動発達、精神発達、社会的発達の関連性を述べるすることができる。 ③人間を発達の視点からとらえ、生涯発達の視点から展望できる。 ④人間を発達の視点でとらえることで、その後に学ぶ臨床的知識の理解を助けることができる。</p>	○	○	○	○	

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
臨床心理学	R02F151L1		職業専門科目	1	必修		①学生は、授業で扱われた臨床心理学の各テーマについての概要を理解し、その中に出てきたキーワードや代表的人物や理論について説明できる。 ②学生は、授業で扱われた臨床心理学の知識がリハビリテーション専門職の仕事にどのように関わっているのかについて説明できる。 ③学生は、リハビリテーション専門職の国家試験に頻出する臨床心理学分野におけるテーマの重要事項について覚え、国家試験問題の過去問を解くことができる。	○	○	○	○	
精神医学	R02F252L1		職業専門科目	2	必修		一般目標（GIO） 精神医学を学び理解することで、作業療法士として臨床、地域においてどのような治療的関り、支援が求められるのか述べることができる 行動目標（SBO） ①精神医学の対象である精神障害者に関する概念について説明することができる ②精神機能の種類、およびその障害の際に出現する精神症状について具体的に述べるができる ③精神障害に対して用いられている主な治療法の種類と特徴について説明することができる ④精神科医療の現状と課題、社会・文化とメンタルヘルスについて説明することができる	○	○	○	○	
整形外科学	R02F253L1		職業専門科目	2	必修		作業療法士が遭遇しやすい運動器疾患について、疾患概念、診断、治療、リハビリテーションの一連の流れについて詳細に説明できるようにする。この授業では、各疾患に対する基本的な理解を深め、実際の臨床現場で適切な対応を行うための知識を習得する。	○		○		
神経内科学	R02F254L1		職業専門科目	2	必修		一般目標（GIO） 神経内科学では、中枢神経、末梢神経、神経筋接合部そして筋に生じる種々の疾患が対象となる。脳卒中急性期を初めとする救急医療、神経変性疾患や認知症などの概要と症状などを説明することができる。 行動目標（SBO） ①神経疾患の理解の基礎となる神経系解剖と働きについて説明できる ②神経疾患の診断に必要な画像診断について、その働きと実際の画像診断について説明できる ③各種神経疾患について、病態、症状、診断法、治療法などについて説明できる ④神経疾患の診断、障害の評価などについての診療技術を習得できる	○		○	○	
小児科学	R02F355L1		職業専門科目	2	必修		一般目標 ① 小児の特性を理解する（特に発達、発育、成熟について） ② 小児科診療で出会うことが多い疾患について知る ③ 特に、最近注目されている神経発達症、医療ケア児などについては、より理解を深める 行動目標 小児の発達の理解、疾患の理解をし、的確な支援、指導ができる	○		○		
内科学	R02F256L1		職業専門科目	1	必修		内科疾患（循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、内分泌・代謝疾患、血液疾患、腎臓疾患、膠原病）について以下を目標にする。 1) 疾患を分類し、それぞれの病因・病態の概要を説明できる。 2) 代表的な疾患の発症様式と症候、診断の要点を説明できる。 3) 代表的な疾患の治療と予後について概説できる。	○		○		
老年医学	R02F257L1		職業専門科目	1	必修		① 高齢期の生活についての概要を説明できる。 ② 高齢者の疾患で注意すべき点とリスクについて具体的に説明できる。 ③ 高齢期にまつわる制度の概要を説明できる。 ④ 高齢期に関連する国家試験問題が解けるようになる。	○	○	○	○	
救急救命の基礎	R02F358P1		職業専門科目	1	必修		災害や事故の発生に伴う局所反応および呼吸・循環・代謝・その他の機能の評価・判定を理解して、迅速な処置を行い、救急搬送に至る流れを理解し、実行できる能力を獲得することを目標とする。					
専門領域基礎	R02F359L1		職業専門科目	1	必修							

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
栄養学・食と健康	R02F260L1		職業専門科目	1	必修							
リハビリテーション医学	R02G351L1		職業専門科目	2	必修		① リハビリテーション医学の背景となる法制度、概要を説明できる。 ② リハビリテーション医学に基づく診察・評価の基礎を説明できる。 ③ 主な障害の病態生理について説明できる。 ④ 主な障害の治療について説明できる。 ⑤ 主要な疾患に対するリハビリテーション医学的知識を説明できる。	○		○	○	
共生福祉論	R02G152L1		職業専門科目	1	必修		① “共生福祉” の概念や意義について説明できる。 ② 地域における“共生型の福祉サービス” について説明できる。 ③ 様々な対人援助専門職が“共生福祉” のために連携する必要性について説明できる。	○	○	○		
ボランティア実習	R02G153P1		職業専門科目	1	必修		① 職業人としての倫理観と基本的態度を身につけること ② 実際にボランティア活動に参加し、ボランティアについて理解し、説明できること ③ 対象者に参加を促すよう働きかけができること ④ 記録および報告を行うことで、今後の学びをどのようにする必要があるかについて説明できること	○	○	○	○	
生活環境学	R02G354L1		職業専門科目	1	必修		<一般目標 GIO> ICFの概念に基づき、人が生活を再構築するために必要な「環境因子」について学ぶことができる。 <行動目標 SBO> ① 私たちを取り巻く「環境」の安全性、快適性等について、制度を含めて理解する。 ② 居住空間（住宅環境）の安全性・快適性等と住まう人との適合について、理解する。 ③ 外出に関わる安全性・快適性等と対象者の適合について、理解する。	○	○	○	○	○
地域共生のための連携活動	RP2G355L1		職業専門科目	1	必修							
作業療法学概論	R02H151L1	○	職業専門科目	2	必修		① リハビリテーションの語源、定義と理念について説明できる ② ICF（国際生活機能分類）とICIDH（国際障害分類）について説明できる ③ リハビリテーションとチーム医療について説明できる ④ リハビリテーションを支える社会保障制度について説明できる ⑤ リハビリテーション工学、栄養とリハビリテーションについて説明できる ⑥ 作業の定義、語源について説明できる ⑦ 作業と健康・幸福との関連性について理解できる ⑧ 作業療法のプロセスに準じた作業の視点について理解できる ⑨ 作業療法の定義、対象、目的、手段を説明できる ⑩ 国内外の作業療法の歴史を理解できる ⑪ 世界作業療法士連盟（WFOT）の役割や活動内容を理解できる ⑫ 作業療法の対象、領域区分、場所を説明できる ⑬ 作業療法の流れ（プロセス）を理解できる ⑭ 作業療法理論の概要を理解できる ⑮ 作業療法におけるエビデンスの意味を理解できる ⑯ 作業療法士教育の歴史、養成施設指定規則および指導ガイドラインを理解できる ⑰ 多職種連携について理解できる ⑱ 作業療法に関連する法規範、職業倫理、作業療法士に求められる資質・適性について理解できる ⑲ 身体障害領域の作業療法の疾患・障害（脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器・循環器疾患、がん）、病期（急性期、回復期、生活期、終末期）とその特徴、作業療法の役割を理解できる ⑳ 精神障害領域の作業療法の疾患・障害とその特徴、ライフステージや病期、実践場所を理解できる ㉑ 発達障害領域の作業療法の疾患・障害の特徴を知り、ライフステージごとの支援介入を理解できる ㉒ 老年期障害領域の作業療法の疾患・障害を理解し、老年期障害の特徴を理解できる ㉓ その他の領域、対象を理解し、作業療法の役割を理解できる	○	○			

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
作業療法研究法	R02H252L1		職業専門科目	1	必修							
基礎作業学演習 I	R02H153L1		職業専門科目	1	必修		①活動の工程の概要を説明できる ②必要物品の概要を説明できる ③課題に出された作品を制作することができる ④作業分析を実施できる	○		○		
基礎作業学演習 II	R02H154L1		職業専門科目	1	必修		①作業療法が実施されている主な対象・目的・内容・方法等について、説明できる。 ②それぞれの作業活動が治療・援助としてどのように利用できるか説明できる。 ③対象者の疾患特性に合わせた作業活動の利用を説明できる。 ④適切な材料や道具を使用し、作品を作ることができる。	○	○	○	○	
作業療法管理学 I	R02I151L1		職業専門科目	2	必修		①作業療法におけるマネジメントについて説明できる。 ②組織における作業療法の役割と、労務管理を説明できる。 ③作業療法における情報の取扱い、チーム医療におけるコミュニケーション、診療情報の記録と報告について説明できる。 ④作業療法におけるサービスのマネジメントを説明できる。 ⑤医療安全のマネジメントとその予防方法を説明できる ⑥作業療法における人・物・経済性のマネジメントについて説明できる ⑦作業療法における情報、時間、ストレスマネジメントについて説明できる ⑧作業療法の法的根拠、関連する法律および定義、職能団体の意義と役割を説明できる ⑨作業療法士の職業倫理を説明できる ⑩作業療法を取り巻く諸制度を説明できる ⑪作業療法教育と臨床実習を説明できる ⑫作業療法のキャリア開発について説明できる	○	○	○		○
作業療法管理学 II	R02I352L1		職業専門科目	1	必修		① 作業療法の実践過程（流れ）と関連職種との関係について説明できる ② 作業療法・作業療法士と関連する法規や制度等との関係について、その概略を説明できる ③ 作業療法に関連する診療報酬及び記録・報告の要点等を説明できる ④ 記録と報告や職種間連携を踏まえ、作業療法・作業療法士に関係する倫理について説明できる ⑤ 作業療法教育を含め、作業療法部門の管理・運営について、その要点を説明できる	○	○	○	○	○
身体機能作業療法評価学実習 I	R02J251P1		職業専門科目	1	必修							
身体機能作業療法評価学実習 II	R02J252P1		職業専門科目	1	必修							
精神機能作業療法評価学実習	R02J253P1		職業専門科目	1	必修							
発達障害作業療法評価学実習	R02J254P1		職業専門科目	1	必修							
高次脳機能作業療法評価学実習	R02J255P1		職業専門科目	1	必修							

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
身体機能作業療法治療学実習Ⅰ	R02K351P1	○	職業専門科目	1	必修							
身体機能作業療法治療学実習Ⅱ	R02K352P1	○	職業専門科目	1	必修							
身体機能作業療法治療学実習Ⅲ	R02K353P1	○	職業専門科目	1	必修							
身体機能作業療法治療学実習Ⅳ	R02K354P1		職業専門科目	1	必修							
精神機能作業療法治療学実習Ⅰ	R02K355P1		職業専門科目	1	必修							
精神機能作業療法治療学実習Ⅱ	R02K356P1		職業専門科目	1	必修							
発達障害作業療法治療学実習Ⅰ	R02K357P1		職業専門科目	1	必修							
発達障害作業療法治療学実習Ⅱ	R02K358P1		職業専門科目	1	必修							
高齢期作業療法治療学実習Ⅰ	R02K359P1		職業専門科目	1	必修							
高齢期作業療法治療学実習Ⅱ	R02K360P1		職業専門科目	1	必修							
高次脳機能作業療法治療学実習Ⅰ	R02K361P1		職業専門科目	1	必修							
高次脳機能作業療法治療学実習Ⅱ	R02K362P1		職業専門科目	1	必修							

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
日常生活活動作業療法治療学実習Ⅰ	R02K363P1		職業専門科目	1	必修							
日常生活活動作業療法治療学実習Ⅱ	R02K364P1		職業専門科目	1	必修							
臨床作業療法実技実習Ⅰ	R02K265P1		職業専門科目	1	必修							
臨床作業療法実技実習Ⅱ	R02K366P1		職業専門科目	1	必修							
臨床作業療法実技実習Ⅲ	R02K467P1		職業専門科目	1	必修							
症例研究Ⅰ	R02K268L1		職業専門科目	1	必修							
症例研究Ⅱ	R02K369L1		職業専門科目	1	必修							
症例研究Ⅲ	R02K470L1		職業専門科目	1	必修							
地域作業療法学Ⅰ	R02L351L1		職業専門科目	2	必修							
地域作業療法学Ⅱ	R02L352L1		職業専門科目	1	必修							
地域作業療法学実習	R02L453P1		職業専門科目	1	必修		<一般目標 GIO> 地域共生社会を構築する際に必要な作業療法士の役割や支援について説明ができる <行動目標 SBO> ①職業人としての倫理観と基本的態度を身につける ②作業療法の視点を必要としている、または今後に必要なさまざまな地域におけるサービスで、どのように作業療法が活用できるのかを説明できる ③現場指導者の指導の下で、提供されているサービスの企画立案・運営等の一部を実践できる ④地域共生社会を構築する際に必要となる作業療法の提供の方法や仕組みについて説明できる ⑤実習で経験したことについて記録報告を行う	○	○	○		

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
見学実習	R02M151P1		職業 専門 科目	1	必修		①作業療法の対象領域、時期、対象者、目的、内容について理解する。 ②作業療法学生としての倫理観や基本的態度を身につける。 ③作業療法を学ぶ意欲や主体的な学習態度を身につける。 ④見学した現場の作業療法について、リハビリテーションの中での位置づけと役割を理解する。 ⑤施設における作業療法士の役割について理解できる。	○	○	○	○	
検査・測定実習	R02M252P1		職業 専門 科目	2	必修							
評価実習	R02M353P1		職業 専門 科目	3	必修							
総合実習 I	R02M454P1		職業 専門 科目	8	必修		1. 職業人としての倫理観と基本的態度を身につける 2. 対象者に応じた評価計画を立てることができる 3. 許容される範囲で評価を適切に実施し、対象者の全体像を把握できる 4. 対象者の全体像について、論理的に考察をすることができる 5. 対象者の作業療法計画を立案できる 6. 対象者へ作業療法の治療・指導・援助を実施することができる 7. 作業療法の成果を再評価にて確認し、必要に応じて作業療法計画を見直すことができる 8. 実習内容について記録・報告をすることができる 9. 管理・運営について理解することができる	○				
総合実習 II	R02M455P1		職業 専門 科目	8	必修		1. 職業人としての倫理観と基本的態度を身につける 2. 対象者に応じた評価計画を立てることができる 3. 許容される範囲で評価を適切に実施し、対象者の全体像を把握できる 4. 対象者の全体像について、論理的に考察をすることができる 5. 対象者の作業療法計画を立案できる 6. 対象者へ作業療法の治療・指導・援助を実施することができる 7. 作業療法の成果を再評価にて確認し、必要に応じて作業療法計画を見直すことができる 8. 実習内容について記録・報告をすることができる 9. 管理・運営について理解することができる	○				
地域実習	R02M356P1		職業 専門 科目	1	必修		①地域や住み慣れた場所での生活を支援するために必要な一連の作業療法過程を理解する ②地域における医療および福祉施設の役割を理解する ③医療人としての姿勢を身につける	○	○	○	○	
共生社会の展開 と実践	RG3N451L1		展開 科目	1	必修							
ユニバーサル ツーリズムと外 出支援 I	R030151L1		展開 科目	2	必修		① 保険医療の基礎知識を、「まち」に応用して考える視点を持つことができる。 ② 高齢者や障害者が「外出・旅行」する意義を説明できる。 ③ 高齢者や障害者が主語になるのではなく、「誰もが同様に」という共生社会について説明できる。 ④ 共生社会の実現のために、何が必要かを自分の言葉で説明できる。		○	○	○	○
ユニバーサル ツーリズムと外 出支援 II	R030152L2		展開 科目	1	選択		① 共生社会の実現のために、具体的にどのような課題があるかに気づくことができる ② 様々なバリアの解消方法を提案することができる ③ ユニバーサルツーリズムを地域活性化につなげる視点を持つことができる ④ グループでコミュニケーションをとりながらプレゼンシートを作成し、分担してプレゼンテーションを行うことができる		○	○	○	○

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
美容ケアによるQOLの維持向上 I	R030153L2		展開科目	2	選択		①美容の基礎理論や心理的作用について説明できる ②美容の基礎技術や心身に対する効果を演習を通して技術を身につける ③化粧品や化粧道具について正しい理解と説明ができ、安全に使用することができる ④人生において想定される美容の問題から人生の終末までの課題を抽出できる	○			○	
美容ケアによるQOLの維持向上 II	R030154P2		展開科目	1	選択							
理学・作業療法士のための音楽	R030155L2		展開科目	2	選択		①音楽が社会の中で果たしてきた役割、共生社会との関わりについて説明できる ②音楽の様々な機能をリハビリに応用する方法を考えることができる ③音楽文化に関する基礎知識とリサーチ方法を身につけ、専門分野に応用できる ④リハビリに役立つ音楽活動を実施することができる		○		○	
音楽療法 I (音楽療法の理論と技法)	R030156L2		展開科目	2	選択		①セラピーのツールとしての音楽の有用性について説明することができる ②セラピーのツールとしての音楽の特性について説明することができる ③様々な現場での音楽の活用法を考え、実施方法を工夫することができる			○	○	
音楽療法 II (音楽療法の実践)	R030157P2		展開科目	1	選択							
手話による聴覚障害者とのコミュニケーション I	R030158L2		展開科目	2	選択		①日常会話程度の手話を自分で表すことができ、相手の表していることがわかる。 ②療法実践の場で活用できる手話を習得する。	○	○			
手話による聴覚障害者とのコミュニケーション II	R030159P2		展開科目	1	選択		①日常会話程度の手話を自分で表すことができ、相手の表していることがわかる。 ②療法実践の場で活用できる手話を習得する。	○	○			
身体障害への支援システム工学 I	R030160L2		展開科目	2	選択		①障害特性の定義と代行手段の選択に基づく支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。 ②保健医療分野の現場における仮説検証に基づいた実証実験手法を説明できる。				○	
身体障害への支援システム工学 II	R030161L2		展開科目	1	選択		①支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。 ②支援システムの試作品評価における実証実験手法と倫理審査の実施手順を説明できる。 ③支援システムの製品化手順を実施できる。				○	
パラスポーツ I	R030162L1		展開科目	2	必修		①パラスポーツの意義と理念を説明できる ②パラスポーツの特徴について説明できる ③パラスポーツ競技会について、その概要を説明できる ④パラスポーツにおける理学療法士・作業療法士の役割について説明できる	○	○	○	○	○
パラスポーツ II	R030163P2		展開科目	1	選択							
スポーツトレーニング論	R030164L2		展開科目	2	選択							

授業科目の名称	科目番号	主要科目	科目区分	単位	種別	形態	到達目標	D1	D2	D3	D4	D5
リハビリテーション医工学概論	R030165L2		展開科目	1	選択							
実務リーダーのための経営・マネジメント論Ⅰ	R03P151L1		展開科目	2	必修							
実務リーダーのための経営・マネジメント論Ⅱ	R03P152L1		展開科目	2	必修							
保健医療経営	R03P153L2		展開科目	2	選択							
総合事業開発	R03P154P2		展開科目	1	選択		1. 新規事業のアイデア創出からビジネスモデルの設計、そして事業計画の主要項目を理解し、その実現可能性と収益性を評価できるようになる。 2. 経営戦略や事業戦略立案の際の、戦略や計画の様々な主要フレームワークに関する知識を持ち、それらを活用し、持続的な競争優位性を確立する事業戦略を立案する知識を得る。					
作業療法総合演習Ⅰ	R04Z351L1		総合科目	1	必修							
作業療法総合演習Ⅱ	R04Z352L1		総合科目	1	必修							
作業療法総合演習Ⅲ	R04Z453L1		総合科目	1	必修							
作業療法総合演習Ⅳ	R04Z454L1		総合科目	1	必修							